

# 役に立つ葬儀の話 Vol.73

## 【お位牌】

位牌とは死者の「法名・戒名」を記し、故人の霊が宿る物(依り代)として、崇拜される木製の板です。元々は中国儒教の死者儀礼の風習(死者の霊を祀る)で、亡くなった人の生前の名前や官位(官職)などを「忌札」に記し、(重職になるほど字数が多くなる)祖廟に祀る霊魂を留めるものとして民衆に定着しました。日本では、鎌倉時代に儒教の影響を受けた禅宗の広まりと共に、先祖供養の道具として伝わります。

## 【白木内位牌】

仏教葬儀での白木位牌は四十九日まで、「内位牌」と言います。内位牌と別に「野位牌」があり、内位牌は忌明けと共に塗り位牌などの「本位牌」を用意し、閉眼供養・開眼供養(魂の入替え)のあと仏壇へ納めます。内位牌は寺院に引取って頂き、お焚き上げをしてもらうのが良いでしょう。

## 【白木野位牌】

野位牌の役割ですが、昔は土葬で葬儀が終わると柩を墓地に運びました。(野辺送り)誰が埋葬されているのか分かる様に、野位牌を墓地に置くようになります。その為、墓標などで誰のお墓か分かる、お墓に埋めたり焼いたりしていました。

現在では、墓地にあるゴミ置き場や焼却炉で処分して頂くか、可燃物として自分で処分するのか、墓地納骨時に寺院に引取って頂く方法のどれかだと思います。

※ゴロゴロになった野位牌を、いつまでもお墓には置きません。



## 【本位牌を仏壇へ置く】

位牌の並べ方では、仏壇に向かって右側が上座で、古い位牌は右側、新しい位牌は左側になります。(本尊を隠さない様に注意します)

※浄土真宗(大谷派・本願寺派)は他宗派と違い、位牌は原則用いません。位牌の代わりに「法名軸」と言う掛軸を仏壇の中に吊るすか、「過去帳」に記します。

## 【仏壇が位牌でいっぱい】

先祖がたくさんいて、仏壇の中が先祖の位牌でいっぱいの場合

- ①「〇〇家先祖代々の霊位」の位牌を用意し、三十三回忌を過ぎた位牌は合祀する。
- ②「引出し位牌」(8~12枚札板をまとめたもの)で一つにまとめる。



小番英之

## 【まとめ】

位牌には種類があり、手を合わせ供養の対象となる役割もあるので。

万が一の時に、喪主になれる方へ、いざという時に慌てないために事前準備をしっかり行うことが大切です。

### ①お葬式の流れ

もしもの時に慌てないために、ご葬儀から通夜、葬儀、初七日法要までの流れを把握しておきましょう。

### ②生前見取り

生前見取りとは、生前中に葬儀プラン等を設定し、見取り書等を作成するサービスです。葬儀の内容を十分検討出来ることにも、事前に費用を把握することで金銭的な不安を解消できます。

### ③個別相談

ドリーマーでは、ご相談者のご要望を確認した上で、不安な事柄を汲み取りながら不安な点についてお答えします。

お問い合わせ  
資料請求

フリーダイヤル  
**0120-44-5880**

365日24時間対応しております。  
【通話無料】携帯電話でもつながります。  
ドリーマーご自宅出張  
無料事前相談実施中 !!

お急ぎの方は  
電話にて  
対応いたします。

◆ドリーマーではお見取りにお客様に提示していただきます。  
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。  
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

ドリーマーの  
葬儀費用

# はなだより ~ 本年も宜しくお願い致します ~

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。今年もまた、いろいろなお花のお話にお付き合い頂ければ嬉しいです。

今回は葬儀のお花についてです。葬儀にはお花はとても重要です。故人を偲び、遺族の方を癒す大切な役割をはたします。主なお花は、祭壇生花、供花、献花等ですが、今回は祭壇のお花についてお話しします。

多様化している最近の葬儀に全国的に多いのが花祭壇です。金額も様々な設定でき、故人様のイメージに合う雰囲気演出したり、お好きだったお花をメインにアレンジすることができる等が人気の理由です。

ドリーマーでは、花祭壇、祭壇を使用するに関わらず、故人様の好きなお花、好きな色等をお聞きしてイメージに合ったお花を飾ります。当家様の意向に合わせた様々なプランを提案させていただきますので、どんな小さなことでも、まずご相談ください。

フラワースペースデザイン部では、お誕生日や記念日、開店祝いや送別会等、様々なシーンに合わせた花束やアレンジメントを承っております。大切なあなたの想いを伝えるお花をお作り致します。お気軽にお問い合わせください。インスタグラム『fsd\_dreamer』でチェックしてみてくださいね。

フラワースペースデザイン部 0897-53-8788



## ちょっとひといき

先日のブラックフライデーで懸垂バーを購入し、日夜懸垂に励んでいる首藤です。さて、今回も引き続き筋肉…ではなく(笑)、二輪車教習についてのお話の続きです。

教習を重ねるにつれ、少しずつですがバイクの車体の重さや取り回しに慣れてきました。左腕や足回りの筋肉痛に悩まされることも回数を重ねるごとに減ってきたように思います。そして段階を踏んで卒検の試験課題へチャレンジしていきます。

試験課題には主に8の字走行、スラローム走行、坂道発進、一本橋通行、クランク、急制動とありますが、最初に苦戦したのが8の字走行やスラローム走行などで車体を傾ける事です。最初の内はどうしても転倒するのではないかと恐怖から思い切って車体を傾けることが出来ず、パイロンに接触しそうになったり、パイロンを避けようとした反動でバランスを崩し転倒したりと散々な目に…。

指導員さんにアドバイスを頂き、少しずつですが上達していきました。そして、私がいちばん苦戦したのが一本橋です。幅30センチ、長さ15メートルの鉄板の上を走行するのですが、脱輪したらアウトです。何より難しいのが大型二輪教習において一本橋の合格タイムは10秒以上となります。

最初に指導員さんから10秒以上と聞き、以上ってどういうことなのか一瞬理解できませんでした。他の試験課題は通行するのに何秒以内等のタイムが設けられていたましたが、この一本橋はその逆で「10秒以上かけて通行」しないといけないということでした。バイクは速度が出ているときの方が車体は安定するので、極力低速で走行する必要のある一本橋には苦戦しました。実際に、タイムを気にするあまり、減速し過ぎてエンストし脱輪や転倒の繰り返し。なかなかタイムが伸びてきません。卒検の試験課題を繰り返し練習していてもやはり一本橋だけはタイムがなかなか出ず、平均して8秒台、調子が良ければ9秒台でしたが、なかなか10秒の壁を突破することができません。それほどまでに低速走行時のバランスは難しいものでした。練習を重ねるにつれ何とか10秒を少し超えるようになってきましたが、それでも安定して10秒を超えるのは4回に1回くらいでしょうか。

卒検に向け不安を残したままですが、教習もそろそろ終盤戦です。私は主に平日の仕事休みを中心に通ったため、なかなか時間が取れず、9月に始めた教習も気づけば11月を迎えました。そして、必要教習時間をこなし、12月にいよいよ卒検が迫ってきました。その卒検の様と結果は次回お伝えしたいと思います。こうご期待(笑)。



首藤亮太